

第14回 (令和6年12月)

宮津市教育委員会
定例会議事録

令和6年12月18日開会

第 14 回（令和 6 年 12 月）宮津市教育委員会定例会会議録

日 時 令和 6 年 12 月 18 日（水）午前 9 時 00 分～

場 所 宮津市福祉・教育総合プラザ応接会議室

出席者 山本雅弘 伊藤正 田崎浩二 尾崎里花子 藤井陽子

事務局 永濱教育次長 河合学校教育課長 河原社会教育課長 河森文化財保護担当課長
大槻総括指導主事 森本学校教育課参事 井上学校教育課参事 細見指導主事
小山学校教育係長

（傍聴者 0 名）

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 会議録署名委員の指名

4 会期の決定

5 教育長報告

6 議 事

議第 32 号 令和 7 年度事務局及び学校その他の教育機関の職員（府費負担教職員を除く。）
の定期人事異動方針について

7 その他

（1）1 月の主な日程（教育委員会関係分）について

8 閉 会

－開会： 9:00－

山本教育長

只今から、令和6年第14回宮津市教育委員会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

それでは、次第に沿って会議を進行します。

■次第2「前回会議録の承認」

各委員よろしければ、伊藤教育長職務代理者と藤井委員にお世話になります。

■次第3「会議録署名委員の指名」

会議規則第18条第2項の規定により、教育長において藤井委員と尾崎委員を指名しますので、よろしくお願ひします。

■次第4「会期の決定」

本日の定例会の会期は、1日としたいと思ひます。
これにご異議ありませんか。

出席委員

異議なし

山本教育長

ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日間と決定いたします。

山本教育長

■次第5「教育長報告」

【報告事項】

○12/7の宮津市教育フォーラムは100名以上の参加がありました。子ども達が意見をしっかり述べていました。また、大学生がしっかりとファシリテートしていただいて、良かったと思ひます。竺沙先生の講評でいただいたご意見は、次年度考えたいと思ひます。

○12/14には北九州市で、中学生が殺人で亡くなるという大変な事件が起きました。亡くなった中学生の女子生徒には、心からご冥福をお祈りいたします。男子生徒もほぼ致命傷に近い深い傷だったと聞きますし、遠くの地であったことではなく、いつ何が起るかわからない。学校においては、年末年始も含めて、長期休暇に入るの子ども達が安心して安全に生活できるように指導していただきたいと思ひます。長期休業に入ると学校から離れてしまうので、事故や事件がなく無事に過ごしてもらいたいと思ひます。

1 市立幼稚園、小中学校の状況について

○インフルエンザが流行ってきています。府中小学校5年生が、12/17～18、宮津小学校の6年1組が12/18まで学級閉鎖です。学校の先生も含めて広がりつつあり、近隣の町でもかなり流行していると聞いています。

○一般社団法人日本教育情報化振興会のICT夢コンテスト2024に宮津中学校の由利教諭が見事に入賞をいたしました。2/28には、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで実践発表するという事を聞いております。宮津から2人目ということなので、立派なことだと思ひます。特にPBL、問題解決型学習と

ということで取り組んだ「お仕事マガジン」が非常に評価をされ、今回表彰ということで、本当によかったなと思っています。こういった動きが、さらに市内の学校に波及して行けば良いと思っています。

2 その他

- 令和7年度は、宮津市教育大綱、教育振興基本計画の最終年度であり、改定に向けて見直しをしていかななくてはならないので、今年度から来年度にかけてしっかり改定をして、令和8年度に第3期目のスタートを切らなければならないと思っています。総合教育会議ではこの辺りの意見交換をしたいと思っていますので、よろしくをお願いします。
- タブレットは令和3年度に導入して、来年度に更新を迎えます。国からの支援があるようですので、引き続き取り組んでいきたい。
- 宮津市の新しい教育 Version2.0～学びの時代～ということで、令和4年度から取り組んでおりますが、重点目標は大事にしていかなければならない。特に「探究的な学び」はしっかりと取り組んでいかなければならないと思いますし、ICTも2期目に入ると言うことで、様々な社会状況の中で、「情報活用能力」といった部分もしっかりと取り組んでいかなければならないと思います。PBLを含めた「ふるさとみやづ学」、これをしっかり充実発展していかなければならないと考えております。令和7年度に向けての重点的な目標はこの3つと考えています。それに学びの進化プロジェクト、コミュニケーション教育をどのように融合させて、展開し、教育を進めていくかを考えています。来年度の予算編成等については、また説明させていただきますが、令和7年度以降に向けてまた基盤を作っていかなければならないと思っていますので、よろしくお願ひいたします。
- 府中の安国寺遺跡で発掘調査を行っておりますが、今回の調査で大きな柱の発見がありました。後ほど報告させていただきます。

それでは、委員の皆様から報告等がありましたらお願いします。特に無いようでしたら、報告を終わらせていただきます。

それでは、議事に移ります。

■ 6 議事

議第32号「令和7年度事務局及び学校その他の教育機関の職員（府費負担教職員を除く。）の定期人事異動方針について」事務局から説明をお願いします。

河合学校教育課長

宮津市教育委員会基本規則第16条第1項第4号の規定により委員会の議決を求めるものです。

令和6年度は、役職定年制等の運用が始まったところであり、こうした制度改正を踏まえ、業務執行体制を構築していく必要があります。加えて、令和6年度の人事評価の結果を翌年度の定期昇給に反映することとしており、令和7年度の人事異動につきましては、これらを踏まえ、宮津市人材育成基本方針のもとで、次のように実施するものです。

(1) 目指すべき職員像、(2) 職員の果たすべき役割、求められる能力、(3) 異動の基本方針、(4) 幼稚園教職員異動方針 を基本に

し、定期人事異動を行っていきたいと考えております。(4)幼稚園教職員異動方針につきましては、幼稚園全体のバランスを考慮し、必要に応じて適正な人事配置を行うというところで、以下3点を定めております。

①は、今年度新たに付け加えている項目でございます。「幼稚園教諭の人材育成の観点から、積極的な役職登用を進める」を追加しております。

②、③は昨年度と同様ですが、②は、「園長の次年度に向けた経営方針を踏まえ、各園の状況や課題解決に向けた人事配置に努める」最後に③は、「運営の円滑な推進と教育効果の向上に資する、調和の取れた適正な体制の確立を図る」としております。

なお、異動発令時期につきましては、令和7年4月1日としております。

以上、簡単ではございますが、ご審議賜りますようお願いいたします。

山本教育長

ただ今の説明に関しましてご質問等ありましたらお願いします。

伊藤教育長職務代理者

幼稚園教諭の人事異動方針ということですが、幼稚園の今後については、どうでしょうか。

河合学校教育課長

現在、子ども子育て計画の見直しを行っており、その中で、公立幼稚園の将来に向けた考え方を、検討していくということ載せていく予定としています。

山本教育長

全国的に都市部ではない地域については、どんどん子ども園化して行っている状況があるので、今後、幼稚園教育、幼児保育をどうしていくのか、方針をしっかりと決めていかないとなかなか難しい。市はどのような方針でやっていくかということをお話し合っていかなければならない。昔のように幼児教育と保育の違いが無くなってきた状況が有るので、その辺りも含めてしっかりと検討しながら進めていかなければならないと思います。

山本教育長

他にご質問等ないようでしたら、議第31号「令和7年度事務局及び学校その他の教育機関の職員（府費負担教職員を除く。）の定期人事異動方針について」は承認することとして異議ございませんか。

出席委員

異議なし

山本教育長

議第32号「令和7年度事務局及び学校その他の教育機関の職員（府費負担教職員を除く。）の定期人事異動方針について」は承認いただきました。

■ 8 その他

◆ 次回教育委員会日程

○ 定例会 1月24日（金）午前10時～

午後2時～総合教育会議

河原社会教育課長

○ 1/7 二十歳のつどい

二十歳のつどいは、企画委員を募り、今回は5人の委員で企画をしています。リモート会議を重ねて、今年はビデオレターを復活させようということで委員を中心にやっています。

す。

河森文化財保護担当課
長

○安国寺遺跡発掘調査報告

平成 28 年度から府中の安国寺遺跡で発掘調査を行って参りました。今回、平安時代の建物跡が見つかりました。資料を見ていただくと、柱が縦方向に 4 本、横方向に 3 本並んでいるのが分かると思います。土層がわかるように半分だけ掘っています。1 辺が大体 90 センチから 1 メートル位で、ほぼ真四角になっています。深さも 60 センチから 70 センチと大規模なものです。一般的な建物の柱は 30 センチの丸穴を掘るものですが、1 メートル程穴を掘って柱を立てて埋め戻すという構造を持つものは、一般の建物にはありませんので、おそらく古代の役所や寺といったものと考えられます。南北方向に 4 本並んでいますが柱間の幅が 2.1 メートルあります。古代は 30 センチが 1 尺なので 7 尺あります。横方向は 3 メートルの間隔がありますこれが 10 尺ですので、古代の尺度にぴったり合っているのが特徴です。丹後国の役所の可能性と与謝郡の役所の可能性があります。10 尺の尺度を持っている建物と言うのは、郡の役所には出てこないのです、おそらく丹後国の役所の何かだと考えられます。縦に 4 本並んで東西に長い建物です。丹後の国のトップの国司が政治を行うための建物、国衙に関連する可能性があります。

今まで府中に丹後国の中心の役所があるだろうと推定されていましたが、今回初めてその実物と思われるものが発掘されました。やはり府中に国府があったのだろうという見通しがはっきりしてきました。そういったことで今回の調査は新聞にも大きく取り上げていただきました。

今年度で安国寺遺跡の野外調査は終了する予定です。来年度、再来年度で調査報告書を作成、刊行する予定です。なぜ建物の半分しか掘っていないかという、半分は川になっています。川の向こう側にも広い台地が広がっているので、川の反対側を調査していくと、この建物が何かさらに解明できるものと思っています。大変大きな成果だと思っております。以上報告です。

伊藤教育長職務代理者

この建物の大きさを全部見ようと思うと、川の反対側を全部掘って見ればわかるのでしょうか。

河森文化財保護担当課
長

東の反対側に続きが出てくる可能性があります、この建物は横方向に柱が 5 本の建物だと、川の中で終わってしまう。7 本であれば最後の 1 本が出る可能性もありますが、そこは望みが薄いと思っています。

山本教育長

この川はきっと後でできたものと思いますが、それを証明する方法はありますか。

河森文化財保護担当課
長

建物が川で壊されているということは、川の方が後になったということです。もともとは違った場所を流れていたはずで、過去に山側を掘ったときに川を流れた跡が見つかっています。籠神社側に川が抜けていて、それがあつた時、土砂崩れか何かで川の流れが変わって削られてしまったと言う可能性が考えられます。

伊藤教育長職務代理者

掘り進められる中で、大切なものが出てきたりとかはなかったですか。

河森文化財保護担当課
長

柱の中から土器が出てくると、時期がはっきり分かるのですが、今回はまだ出ていません。川の中から銅銭が出てきていますので、これは平安時代かなと思っております。

山本教育長

他になければ、第14回宮津市教育委員会定例会を閉会します。
ありがとうございました。

－閉会： 9：40－